

講話「レオロジー・クラシック」2012

- 主催:** 日本レオロジー学会
- 協賛:** 化学工学会, 紙パルプ技術協会, 高分子学会, 色材協会, 日本化学会, 日本材料学会, 日本バイオレオロジー学会, 日本油化学会, 日本ゴム協会, プラスチック成形加工学会 (依頼中)
- 日時:** 2012年6月15日(金) 10:00~18:00
- 会場:** 京都タワーホテル 6階 アテネの間
(京都市下京区烏丸通七条下ル JR京都駅前正面 Tel:075-361-3212)
- 趣旨:** レオロジーは現在の工業技術において不可欠の概念であるが, 一方で初心者には取っ付きにくいと言われている. しかし学び方によるとそうではない. この講話においては, レオロジーの研究・教育のベテラン(レオ老人と自称している)が, 面白くて役立つこの分野を易しく紹介する.

プログラム:

10:00~11:45

- 第1話 レオロジーとは** 京都大学名誉教授 升田利史郎
「レオロジー早分かり」を聞いて「そうか」と思っていた. 代表的なレオロジーの現象を紹介し, 分野の広さとその重要性を認識してもらう.

11:45~13:00 昼食

13:00~14:15

- 第2話 高分子レオロジークラシック** 京都大学名誉教授 尾崎 邦宏
レオロジー研究の初期の歴史と高分子粘弾性の基本的な概念(粘度の3.4乗則, からみ合い分子量, 高分子粘弾性の4領域, 温度-時間換算則など), 粘弾性理論の基礎になるゴム弾性の初歩などを分かりやすく紹介し, 親しみを感じていただく.

14:15~14:45 休憩(コーヒー・ブレイク)

14:45~16:30

- 第3話 レオロジー入門** 京都工芸繊維大学大学院教授 高橋 雅興
「レオロジー」に入門する. ひずみ, 応力, 弾性率, 粘度, 粘弾性, 緩和時間など基本的な用語を覚えてもらう. この学問分野の「真髄」をやさしく説明することにより, 自分なりの「レオロジー像」を獲得していただく.

16:30~18:00

- 第4話 余談(懇談・懇親会)**
軽い食べ物と飲み物を取りながら講師(レオ老人)と懇談すると, さらに理解が進むかもしれない.

参加費: 主催, 協賛学協会会員 30,000円 非会員 40,000円
講話資料, 懇親会, 単行本「講座・レオロジー」(お土産)付き

申込締切: 2012年6月8日(金) 定員30名

申込方法: 申込書(HPからダウンロードしていただけます)に必要事項記入の上, お申し込みください.

- ① 協賛学協会の会員である会社・事業所等よりお申し込みの場合は参加者が非会員であっても会員として取り扱います.
- ② 送金は現金書留または銀行振込(三菱東京UFJ銀行 出町支店 普通 4192464 一般社団法人日本レオロジー学会)をご利用ください.
- ③ 申込者には前もって参加証を送付いたします.

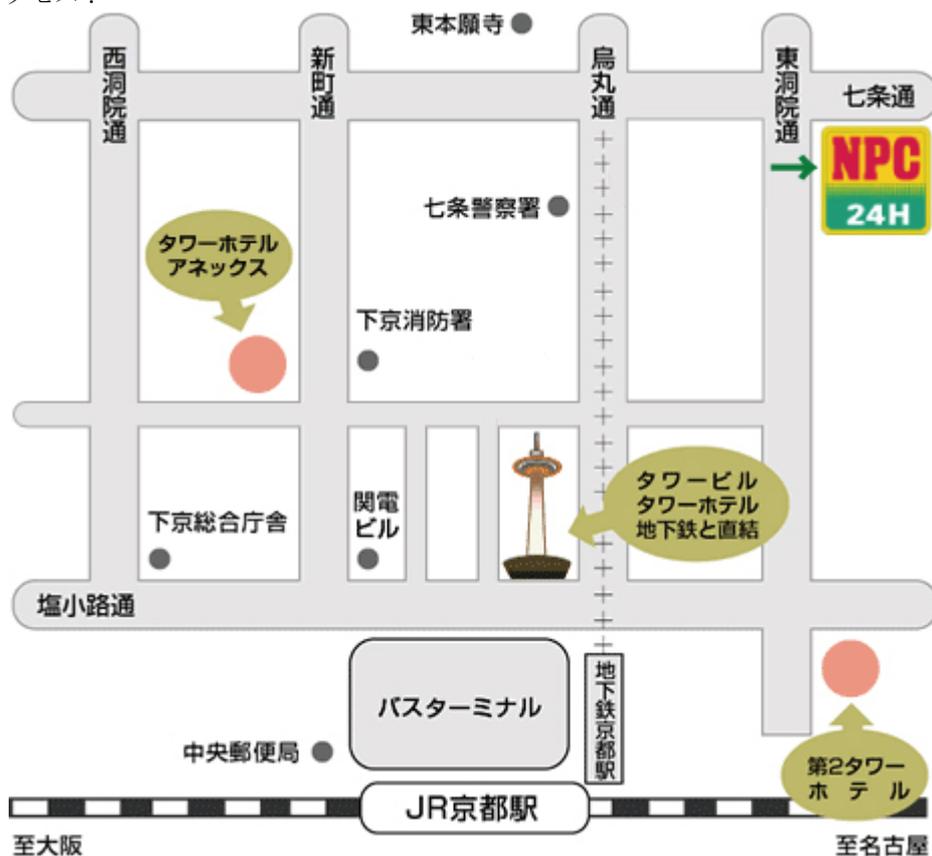
申込先: 〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 京都リサーチパーク6号館 3F
一般社団法人日本レオロジー学会

Tel:075-315-8687 Fax:075-315-8688 E-mail: office@srj.or.jp

<http://www.srj.or.jp/index-j.html>

京都タワーホテル

アクセス：



〒600-8216 京都市下京区烏丸通七条下ル（JR京都駅正面）
Tel (075) 361-3212 Fax (075) 343-5645



講話「レオロジー・クラシック」2012 参加申込書

会社事業所名		所属学協会	
所在地 〒			
電話			
送金内容	会 員 30,000 円×	名	銀行振込・現金書留（一方を消して下さい）
	非会員 40,000 円×	名	請求書： 要 ・ 不要（一方を消して下さい）
合計			円
受講者名	1.	受付番号*	
	2.		
	3.		

*印記入不要